

さ ざ ん か

第67号、2007年5月

ほほにあたる風が、なぜか新鮮でさわやかに感じる季節になりました。ほかの季節の風とどこが違うのでしょうか。温度とか湿度とか強さとか向きとか、混じる新芽の香りとか、連れ添う鳥の鳴き声とか、その他沢山のいろいろな要素が混ざって風薫る5月があるのでしょうか。

さわやかな自然とはうらはらに人間社会では5月病というやっかいなものが流行るのもまたこのゴールデンウィーク明けの季節に多いとかいわれています。人間の心は、悟りを啓いた人の平常心は別にすると、普通は高ぶるか（そうの傾向）、落ち込むか（うつ傾向）の間をいったりきたり。それを繰り返し日々過ごすのが普通なのだと思います。何故か調子の良い日、どこことなく気乗りのしない日。ちょっとした事が嬉しくなる日。逆に、たいしたことでもないのに妙に悲観的になったりする日。5月病はそれが重なって落ち込む、というか、気力がなくなる方に偏ってしまうということのようです。目標達成のあとの虚脱感。受験勉強を必死に頑張ってきてようやく入学した大学生が目の前の目標を失ったときに典型的に現れるようですが、もともと受験を目標にしたことが間違いだったといえそうです。大学進学が目的が、合格ではなくてそれなりのもの（歴史の勉強がしたい、考古学を勉強したい、数学を勉強したい、医学を学びたいなどなど）であれば、入学後にはむしろ虚脱感どころかさらに青雲の志は燃え盛るのだらうと思うのですが、どうでしょうか。入学することは当然スタートにならなければならないのに、現実には大学合格がゴールになっているところに現代の閉塞感というか、夢とか希望とかを膨らませにくい時代状況を反映しているのかもしれない。もうここで（合格した大学のブランドで）人生の大半は決まってしまったかのような錯覚。あまりにも早急な決めつけ。たった一回の試験で一生エリートコースを歩むことが保障されている高級官僚の世界。意欲があり能力があってもなかなか評価されないワーキングプアの若者。当面は風が読めない時代ですが、風に吹かれたまま流されつつもしっかり前を向いて歩いていきたいものですね。明日は明日の風が吹くのでしょうか。

俳句

西屋敷 喜美子

検査すみ 良性なりし 緑立つ

1人きり ひねもす文や 菜種梅雨

掘りたての 筍ひとつ 両の手に

病院からのお知らせ

- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でお尋ねください。骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。
- * MRI で脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中やボケ（認知症）の予防につながることもあるからです。脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。
- * 新式のマンモグラフィーが入りました。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。

遊び心で生活をたのしもう

 宮園辰夫

うちのカミさんはヨン様の大ファンでね。俺が家に帰りついてピンポンでインターホンを押すと中から誰方ですかって云う。すました声で「ヨン様」ですっていうと、「カミさんも」いらっしやいませ、どうぞ、なんて精一杯の上品な声で云う。玄関を開けて中に入ると、なんだお前さんか、っていい乍ら、ポスターと見比べ乍ら、でもちょっと似ていたよ、なんて、へんな所でバチが当たるよ、何十年もの夫婦だもんね。遊びって云うか、なんとか「ゴッコ」って云うか、毎日の生活を楽しむことが大事よね。

この間、少し早めに帰って、例のごとくピンポンと鳴らして、宅急便ですって云ったら、ハンコ持って飛んできやがる。「なんだ」。なんだはないだろう。自分の亭主の声がわからなくてどうする。ハアお歳暮の時期だったから、条件反射と云うところか、欲が深いよねハッハッ・・・何時だったかな、書中見舞いのハガキ一枚余ったことがあった。俺の落款も押してあるし、もったいないで思ったので、ついだったの、今年はずの外暑い日が続いております。貴女様も寄る年波ですから、体を愛してこの夏を過ごして下さいって、うちのカミさん宛てに書いて、自分の名前をそのまま続けたらヤボたらしかったので、知事と書いてポストに投函した。

所で、ちゃんと消印のある暑中見舞いを受け取って、「やった」なんてカミさんお喜び。知事さんから、暑中見舞いなんて貰ったことがないから、余程嬉しかったらしい。そのハガキを出す時、さつま揚って書いてあったとも知らず、余程嬉しかったのであらう、そのハガキを冷蔵庫の外側にピンナップしていたよ。これはウケタね。遊び心の生活の楽しみも、まあ、いいぢやないですか。知事さん有難う・・・。

柿の葉の風に鳴る音聞こえて膝痛む夜は眠られず居り

孫が就職神様い頼んでん不合格でした

今の子供達は幼児教育の時点で親を敬い兄弟仲良くという精神を父母からしっかりと教わっているのでしょうか。保育園か幼稚園などの集団生活の場でも先生方がその基本をよく教えず、そのまま小中学校へ入り、急に愛国心などと言われても手遅れで、まして今は少子化で大切にされ自己中心、わがままに育ってしまっています。他人の迷惑も考えず道端に物を散らかす、どこでも座り込んで飲食をする。「ガングロ」なんてみっともない化粧をして得意になってる。成人式の時のあの馬鹿騒ぎはなんだろう。親の顔が見てみたい。こっちの方が恥ずかしくなるくらいだ。

これはほんの一部の人達なのだが、外国人の人はこんな日本人を見てどう思うのだろうか。子供は親の言った通りには育ちません。親が国際青年年ということで世界中のハタチ集まれの催しが東京であった。取材した記者によれば、日本人の若者が如何に幼いかに愕然とされたと云います。若者達は国によっては、社会の中でたよりにされ、経済的にも自立しているのに対して、マンガやテレビゲームに夢中になって（スネカジリ）の連中、生まれたときは同じだったのにどうしてこれ程の差が出来たのか。

もちろんたくましい若者もいますが、彼らの共通点の一つは働く親の姿を見て育っていることです。サラリーマンと違って、自営業、たとえば魚屋さん、八百屋さんなどでは小さいときから店番をしてお客さんとのあいさつを覚えたり、実践としてお金の勘定など身につけています。勉強だけしていたらいい子というのは駄目です。どうでもいい子になります。次に兄弟が多くてその中で人間関係を学んでいることです。一人子でも沢山のお友達の中で育っていると実に人付き合いが上手の子もいますが、親がそういう環境をつくってあげることも大切。そして剣道や書道、伝統的な太鼓打ちなどいわばお稽古事をやっています。子供時代に夢中になって10年以上続けているものを持っていることは人間の幅をひろげます。

しろがね（銀）もくがね（金）も玉も何にせむ優れる宝子にしかめやも

万葉集 山上憶良

かくばかりいつわり多き世の中と、この可愛さはまことなりけり

患者さん満足度調査結果 病棟編

	満足している	不満を感じる
診療内容	15人	3人
医師の対応（病状・治療の説明等）	66人	6人
看護師の対応	65人	6人
受付・会計窓口の対応	4人	0人
食事内容	12人	14人
病棟・病室の設備	3人	12人
院内環境（温度・騒音）	0人	14人
交通の利便性	0人	19人

自由意見より：今回も苦情系のみとしました。

- * 診療科目が少ない。
- * トイレと室内の履物が区別されていなくて不潔を感じる。
- * 消灯時間を早くして欲しい。
- * 自分が辛いとき、次から次へと患者が来て後回しにされた。
- * 夜寝るとき、暖房が切れたあとが寒い。
- * 患者側は不安で仕方ないのに、横柄な態度をとられ不愉快だった。（医師）
- * 食事が美味しくない。トイレはウォシュレットが良い。
- * 一部、看護師の対応が一方的な人がある。
- * 一定期間がすぎれば完治していなくても転院しなければならないこと。
- * 公共性、乗り物不便。タクシーに頼まざるを得ない。50分くらいかかる。
- * 食事の味付けが以前より悪い。
- * 欲をいうと、近代の総合病院が欲しい。
- * 術後、付き添い人の丸椅子は少々きついので、体にやさしいものであればと思いました。
- * 銀行・郵便局のATMを設置して欲しい。
- * 看護師さんが良く対応してくれてはいるが、人手不足のようで自分が物事を頼みたくても頼めない環境が多い（遠慮してしまう）

建物の古さとか、立地条件はなかなかお金（資金）がないと克服できないことですが、それでもトイレの問題とかはなんとか努力しだいのできるような気がします。もっと医療に対してお金を注いでくれれば解決可能な問題なのですが、いまは医療機関冬の時代で、ちまたでは医療機関生き残りのための厳しい競争が求められているのが現実です。皆様のご意見を参考に更に努力していきたいと思っております。アンケートへの回答、ありがとうございました。

カラーマン義務を語る カラーマン（とその女）

【義務】 1) 自己の分限に応じてしなければならないこと、また、してはならないこと。

2) 法律主体たる人に課せられる法的な拘束⇔権利

【権利】 1) 一定の利益を主張し、また、これを享受する手段として、法律が一定の資格を有するものに賦与する力。或る事をする、またはしない事ができる能力・自由⇔義務

まあ、あまり言葉にこだわっても仕方ないけど、最近は、というよりもおそらく敗戦後からずっとなのかもしれないが、自らの「義務」を果たすという話よりも、とりあえずまず「権利」を主張するという風潮が強いと感じることが多い（欧米物真似の上滑りの民主主義ってやつかしら）。

今月はちょっと、権利と義務について考えてみたい。（あーら。何かそういう言い方って、カラーマンシリーズが定着したような言い方ね。「今月は」だって。うけているのは北薩病院の一部のアホ職員にだけだって、知ってるのかしら。でもまあ、その図々しさもまた良し、としましょう）

最近の話題から。給食費を払わない親はその理由として義務教育だから当然だといっているらしい。このアホが。子供は教育を受ける「権利」があり、親は教育を受けさせる「義務」があるのが、「義務教育」なのである。「学校に行ってやっている」わけじゃないのだ。

学校には「あなたのアホ息子を教育する義務」はないのである。まったく、どこでどう勘違いをしているのだろうか。ましてや、給食費を「タダで食べる権利」なんかあるはずがないじゃないか。

給食費すら払わないというやからはそもそも義務教育にどのくらいの税金がつぎ込まれているとか考えたことはないのだろうか。子供にお金がかかるとか、児童手当がもっと欲しいとか、成績が悪いのは教師の教え方が悪いとか、そういうことばかりグジグジしているような気がする。義務教育では、先生達の人件費を含め全ての経費は税金から出ているのである。子供が居ようと、居まいと、国民が払う税金から義務教育の費用が出ているという自覚はアホ親どもにはないだろうねえ。おまけに扶養控除とか税金面での恩恵を受けているしね。（なーんか、今月も過激ねえ。だんだん過激になるあなた。疲れてるのかしらね。でもつらい事があってもあたしにはあたらないでね！）

独身の女性・男性や子供のいない夫婦が、義務教育のための税金は払う必要がない！と言い出せばけっこう世の中おおごとである。（まーいわゆる、受益者負担にしろっていうわけかしら。たとえば、あたしは独り者の独身女だから、小中学校の先生の給料をまかなう

ための税金は払わないでもいいってわけね。それだったらありがたいなあ！)偉そうに、子供を自慢している(それも、全然自慢できそうにもないガキに限ってそうなのよね)親達は、実は子供を学校に出していない人たちからその税金を分けてもらって、学校教育は成立していると考えたことがあるだろうか。(公立が安くて、私立が高いってのは税金の投入額の差だものね。あたしは義務教育は、イメージ的に公平で平等だと思ってたけど、負担をする人たちはぜんぜん公平で平等じゃないなんてなーんか、意外だなあ。いっそ、公立をなくして全部私立にすれば負担は平等ってことになるわね)。

それだけ他人に助けられながらの義務教育であるのに、給食費は払う必要がないとか、休んだ日の給食は届けろとか、とんでもないアホが居るのが現実である。権利と義務。どちらが先かといえば、当然、義務が先であろう。義務を果たしてこそその権利の主張ではないだろうか。(法律とかの専門家じゃないけど、あたしもそう思うわ。あたりまえよね)

若いときに年金を払わないでにおいて(その理屈はどうせ将来貰えるかどうか分からない年金なんか払えるか!てことらしいわね。)、いざとなったら、年老いて、よしんば年金はなくても生活保護でも何でも何とかなるだろう。だって、国民は文化的生活を営む「権利」があるって日本国憲法にも書いてあるしな。ま、年金より沢山貰ってしまえば、コツコツと「義務」として何十年も払ってきたアホどもに悪いから、同じか少し少ないくらいで我慢してはやるけどな。などと思っている若者がたくさん居るとしたら……。なんか想像するだけでも絶望的な気持ちになってしまう。(ほんとそうね。でも、仮定だけの問題じゃないらしいわよ。いったい、あたし達の国はどうなるのかしら。)

なぜこうも「義務」を果たすことよりも「権利」を主張する人間が増えたのであろうか。おおまかに、乱暴に、独善的に言ってしまうえば戦後教育がそのすべてである、ということではないだろうか。お国のために命を捨てた若者の時代から、「金で買えないものはない」とうそぶく若者達が闊歩する時代への変遷に教育が果たした影響(もちろん、悪影響ってことでしょうか?)は計り知れないし、それはまたカラーマンごときの手に余ることではあるものの、いまここで何とかしないとイケないとの思いは強い。(あなたの場合は、教育を憂う前に、みずから反省すべきことが山のようにあるような気がするけど、まあ、それはおいときましょう。)

教育の失敗が教育にふりかかり、さらに世の中を「権利」人間だらけにしてしまった。多くの危機的状況を乗り越えてきたニッポン国にとっては、これまでの黒船とか原爆だとか敗戦とかと異なって、目に見えにくい危機だけに、国民が一丸となりにくい。(そういえば、あたしたちのニッポンは一丸となるのが得意で、お国を挙げて舞い上がったたり、落ち込んだりしてきたわねえ。振り返ると、ほとんど私達ってワンパターンといえそうだわ

ね。)

だけでも私は、私が愛するニッポン人とニッポン国はきっとこれまでもそうであったように、どんな苦境にあってもそれから甦るに違いないと信じている。(あたしもそう。もちろんそれに確固とした根拠はないけど。でも、愛するってことに根拠はいらないのだから。きっと……。祈りがあれば……)

今回は義務を果たしてのち初めて権利を主張すべきである、という当たり前の話で終わってしまったなあ。(まあ、あなたは、日頃が当たり前からはずれているから、たまにはそれでもいいんじゃないの?)

百人一首より

瀬をはやみ 岩にせかるる 滝川の われても末に逢はむとぞ思ふ
(崇徳院)

逢い見ての後の心にくらぶれば むかしは物をおもはざりけり
(権中納言敦忠)

久かたの光のどけき春の日にしづ心なく 花のちるらむ
(紀友則)

月見れば千々に物こそかなしけれ わが身ひとつの秋にはあらねど
(大江千里)

いにしへの奈良の都の 八重桜 けふ九重に匂ひぬるかな
(伊勢大輔)

君がため春の野に出でて若菜つむわが衣手にゆきはふりつつ
(光孝天皇)

編集後記

先日、ヤフードームにソフトバンク対西武戦を観戦に行ってきました。スポーツはいいですねえ。3万人以上の人が集まり、それぞれ試合を楽しむ人や応援を楽しむ人がいて、お弁当食べながら、あるいはビールを飲みながら楽しいひとときを過ごしているように見えました。最近地域密着の野球チームやサッカーチームが増えているようです。鹿児島県にも“おらがチーム”ができるといいですね。なんであれ、みんなで熱中することって大切だと思いませんか。(by KT)